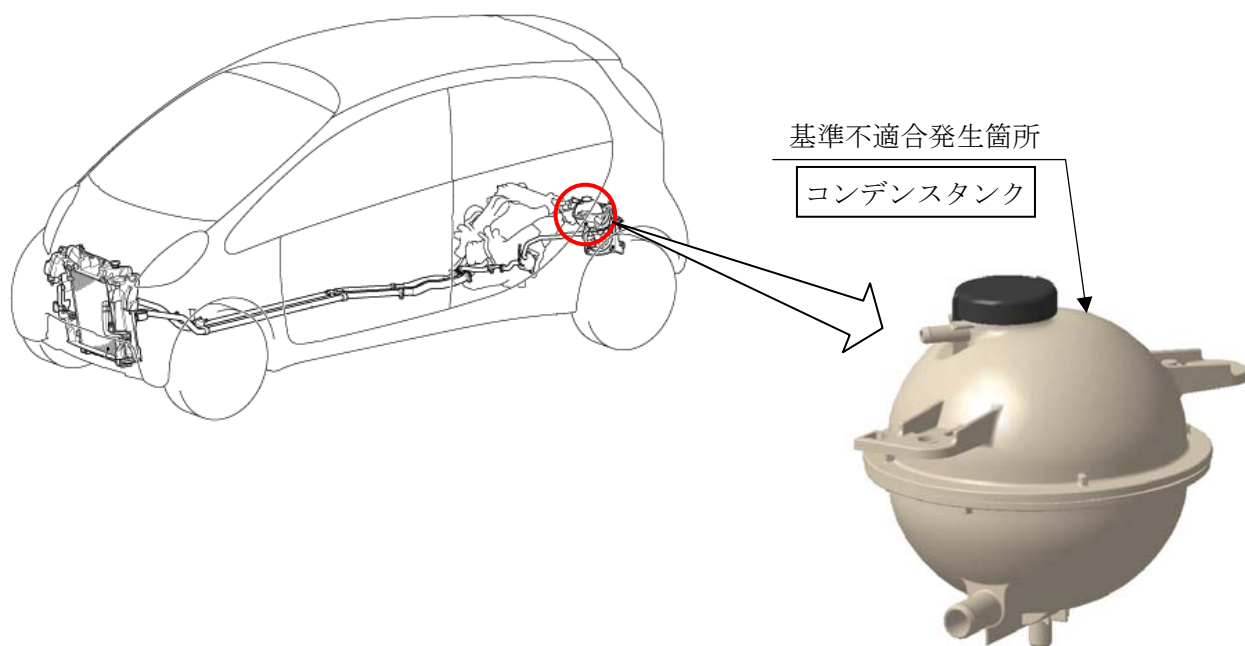


改善箇所説明図



エンジン冷却系のコンデNSTANK（冷却水内の気泡を分離するための装置）において、エンジンを高回転で運転すると、気水分離機能が適切に働かず、冷却水が溢れ出ることがある。繰り返し冷却水が溢れ出し、冷却水が不足したまま使用すると、オーバーヒートが発生し、最悪の場合、エンストして再始動できなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、コンデNSTANKを対策品に交換する。

注：図中の 内は、交換する部品を示す。

識別：助手席ドアチェック取付けボルト(下側)の頭部に、白または黄色のペイントを塗布する。